

【神奈川県藤沢】【茅ヶ崎市】【神奈川県労働局ハローワーク藤沢】

障害者雇用に関わる共同事業として、自治体とハローワークによる 2人3脚型事業所訪問と障がい者就労事業所等見学会を実施

【課題・目的】

障害者雇用を推進する必要がある企業等では、実雇用へのノウハウや就労を希望する障害者の実態等が把握できていない場合が多く見られ、自治体と協働し企業の障害者雇用への認識の向上が必要。

【実施概要】

- ① ハローワーク職員と自治体の労働部局及び福祉部局の職員が共に企業訪問を行う。
- ② 自治体の労働部局及び福祉部局の職員、ハローワークの幹部職員と共に、障害者雇用を推進することが期待される企業の人事担当者がバスに同乗し、障害者雇用が進んでいる企業や福祉施設を見学。

【役割分担】

【藤沢市・茅ヶ崎市】

企業訪問に関して、日程調整及び車の手配。

【藤沢市】

障害者就労企業等見学会への参加勧奨及びバス手配。

【ハローワーク】

- ◆訪問企業の選定。
- ◆障害者就労企業等見学会に関しては、参加勧奨と参加事業所に対する障害者雇用促進についての当日の講話。

＜藤沢市・茅ヶ崎市コメント＞

市のイベント等で障害者雇用に関する啓発活動を行っているが、企業側の課題など個別事案を知ることができる良い機会と考えている。

＜ハローワークコメント＞

実際に障害者雇用を進めている企業を訪問し、企業同士で交流してもらうことで、雇用率達成指導とは異なる啓発効果が得られる利点がある。

【効果】

- ◆ 企業訪問にハローワークと自治体が同行することで、企業側も役職者が対応するケースが多くなり、啓発指導が円滑になる。平成25年度は22社訪問。
- ◆ 障がい者就労企業等見学会においては、9社13名参加。